

診療科研修コース申請書  
研修コース名【 呼吸器専門医コース 】

1. 診療科（専門領域）

呼吸器内科

2. コースの概要

前期2年は内科総合研修、後期3年は呼吸器専門研修とする。

前期では協力病院の院外研修も含む。

3. 取得資格

日本内科学会認定内科医

日本呼吸器病学会専門医            の取得を目指す

4. 長期目標

後期研修の前半では、協力病院との連携を含めて幅広い内科領域での基本的診療技術、知識を身につけ、認定内科医の取得を目指す。その上で、呼吸器専門領域の知識と技術を習得し、適切な診断を行い、治療を選択し遂行する能力を身につける。さらに臨床研究・学会発表を企画・実践する能力を習得する。

5. 取得手技

画像診断（胸部X線、CT、MRIなどの読影）

動脈血ガス分析

呼吸機能検査の解析

気管支鏡検査

胸腔穿刺、胸腔ドレーン留置

気道確保などのBCLS、ACLSの取得

人工呼吸器を含めた呼吸不全の管理

呼吸器感染症の診断と化学療法

呼吸器悪性腫瘍の診断と治療

稀な呼吸器疾患への対応、全身性疾患に伴う呼吸器病の診断・治療

呼吸リハビリ、栄養療法、在宅療法の実践

6. 研修期間

5年

7. 募集人数

2名

8. 診療科の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度

主要疾患	入院数（年間）	経験目標症例数（5年間）
肺炎	50	25
慢性閉塞性肺疾患	50	25
慢性呼吸器疾患の二次感染	100	25
肺癌・呼吸器悪性腫瘍	100	25
間質性肺炎・びまん性肺疾患	50	25
気管支喘息	30	15
慢性呼吸不全	100	25
肺循環障害（肺塞栓など）	5	5
気胸・胸膜炎・膿胸	30	15
アレルギー性肺疾患	10	5
肺結核、非結核性抗酸菌症	100	50
睡眠時無呼吸症候群	300	25

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 8名、非常勤 0名

診療科研修の指導にあたる医師 6名

主として研修指導にあたる医師の氏名 斎藤泰晴

診療科経験年数

21年

## 10. コンセプト

前期研修2年のなかでの内科研修は十分とはいえない。後期研修の前半では、協力病院と連携して内科基礎技術の習得を目指す。重篤な呼吸器感染症や、稀なびまん性肺疾患が多く紹介される当院の特徴を生かし、呼吸器領域の高度な専門医療を実践できる能力を身につける。胸部外科との連携で、外科的治療を含めた適切な治療計画を立案する能力を身につける。さらに臨床から得られる問題点を通して、症例検討・報告や、基礎的実験も可能な臨床研究部を活用した臨床研究を、企画・実践する能力を身につけさせる。また医療倫理への配慮や、他職種との協力の重要性を理解し、医療チームのリーダーシップが取れる人材を育成する。

### 11. 一般目標

- ・内科全般の診療技術、特に呼吸器領域では専門性の高い診療技術を習得する
- ・他の診療科、特に胸部外科と連携して手術を含めた適切な診療計画を立案する能力を習得する
- ・内科認定医、呼吸器専門医の取得
- ・学会・論文発表ができる能力を身につける
- ・医療安全・医療倫理への配慮ができ他の職種・患者との意思疎通を行いながら安全な医療ができる

### 12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修 可能

施設外との交流研修 可能

研修領域の決定

### 13. 共通領域研修について

呼吸器検討会、症例検討会各週1回開催

院内検討会・研修会の主催・参加

各種学会・セミナーへの参加